

この施工説明書は商品に
同梱されていません。
電子データでのみの提供です

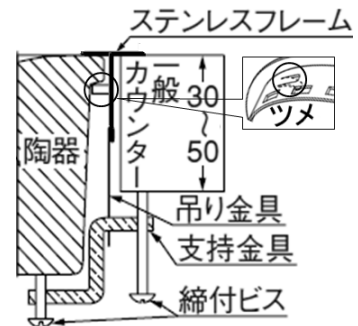
TOTO

はめ込み洗面器(フレーム式) L525型

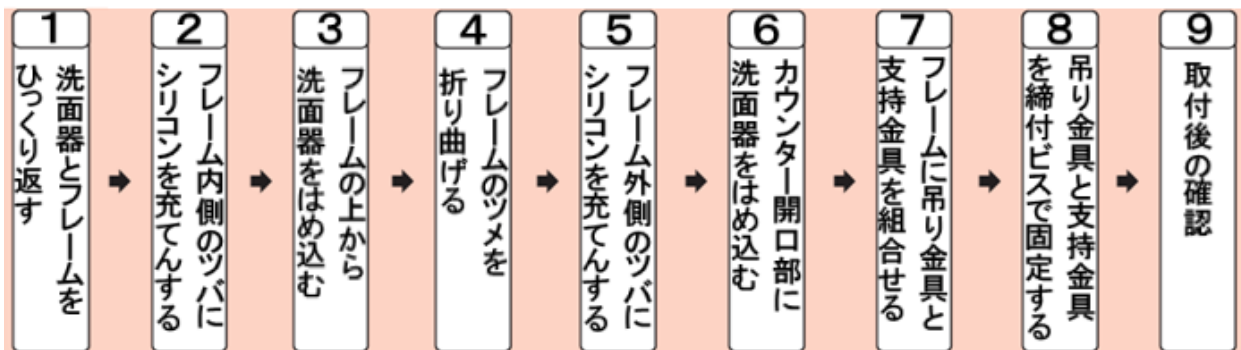
商品の機能が十分に発揮されるように、この施工説明書を参考に正しく取り付けてください。

1 取り付け上の注意

- フレームのツメを内側に曲げ洗面器にしっかり固定してください。
- フレームの内側のツバ全周ならびに、フレーム外側のツバ全周(フレームと接するカウンター全周)にシリコン系シーリング材防カビ剤入り(目安:1本)又は、メジシール(YG 902S/903S:目安1本)を充てんしてください。
- 吊り金具と支持金具をツメに引っ掛け、カウンターに洗面器をはめ込んだ後に、締付けビスで固定してください。
カウンターの厚みが30mm以下のときは、当て板を入れて厚みを調節してください。



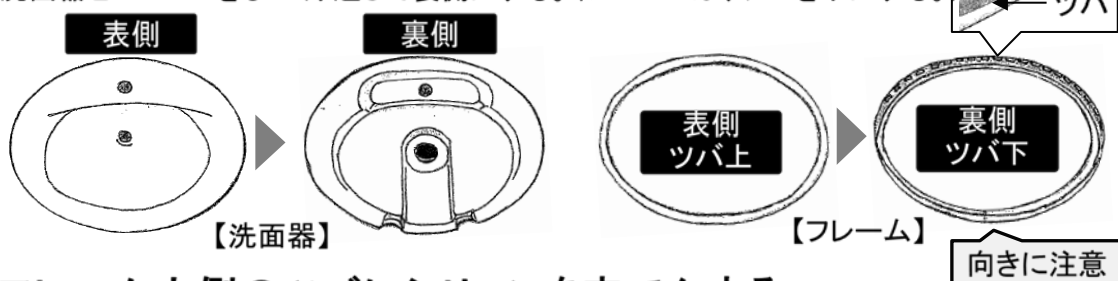
2 施工手順



3 取り付け方法

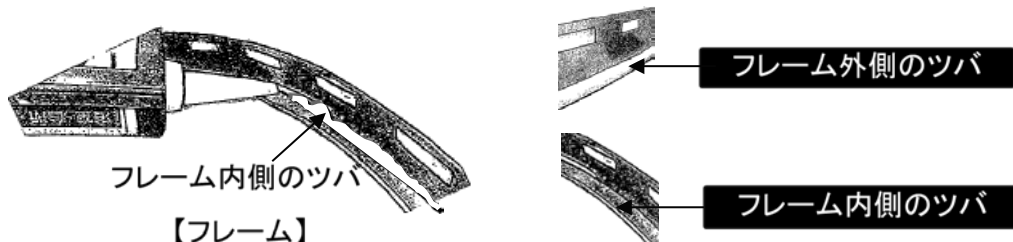
1 洗面器とフレームをひっくり返す

洗面器とフレームをひっくり返して裏側にする。(フレームは、ツバを下にする。)

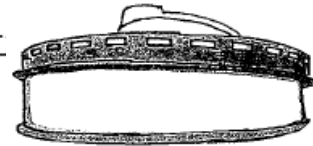
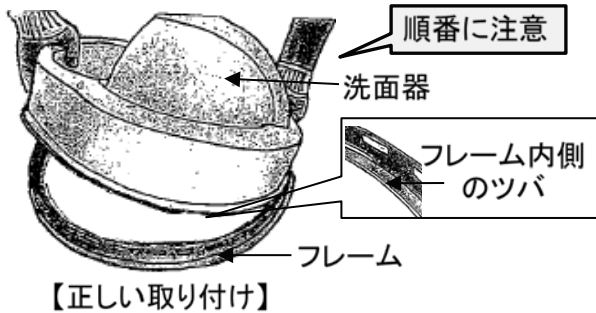


2 フレーム内側のツバにシリコンを充てんする

フレームを裏側にした状態で、フレーム内側のツバ全周にシリコン系シーリング材防カビ剤入り又は、メジシール(YG 902S/903S)を充てんする。



- ③ フレームの上から洗面器をはめ込む**
 フレームを裏側にして、フレームの上から洗面器をはめ込む
 (フレーム内側のツバに洗面器をはめ込む。)

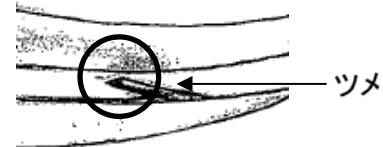
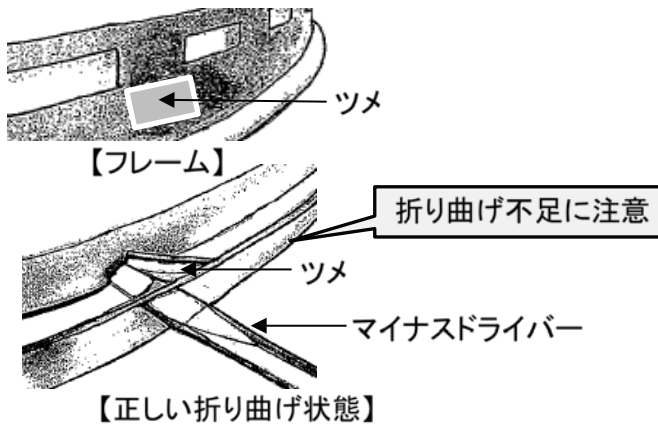


【誤った取り付け】

注意

洗面器の上からフレーム
 を取り付けすることは
 できません。

- ④ フレームのツメを折り曲げる**
 13箇所のツメを、マイナスドライバーで洗面器にしっかり当たるまで内側に折り曲げる。

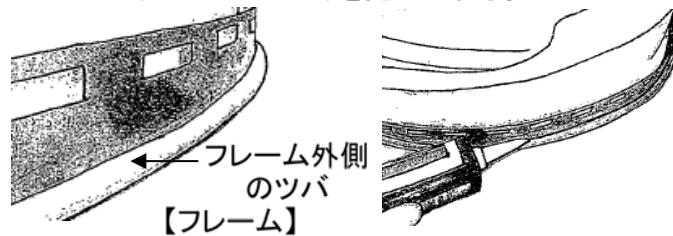


【折り曲げが不十分な状態】

注意

ツメの折り曲げが不十分
 の場合、洗面器が落下す
 るおそれがあります。

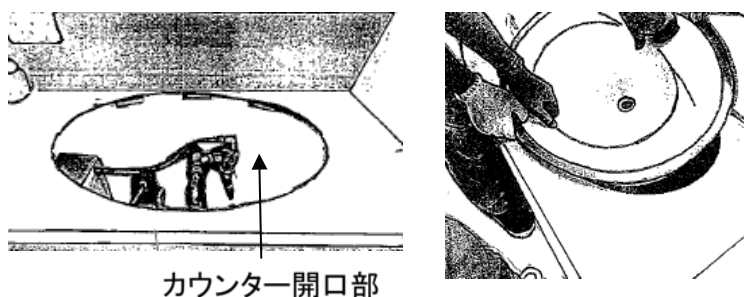
- ⑤ フレーム外側のツバにシリコンを充てんする**
 フレーム外側のツバ全周にシリコン系シール材防カビ剤入り又は、
 メジシール(YG 902S/903S)を充てんする。



注意

シリコンの充てん不足の場合、
 カウンターとフレームの隙間
 から浸水するおそれがあり
 ます。

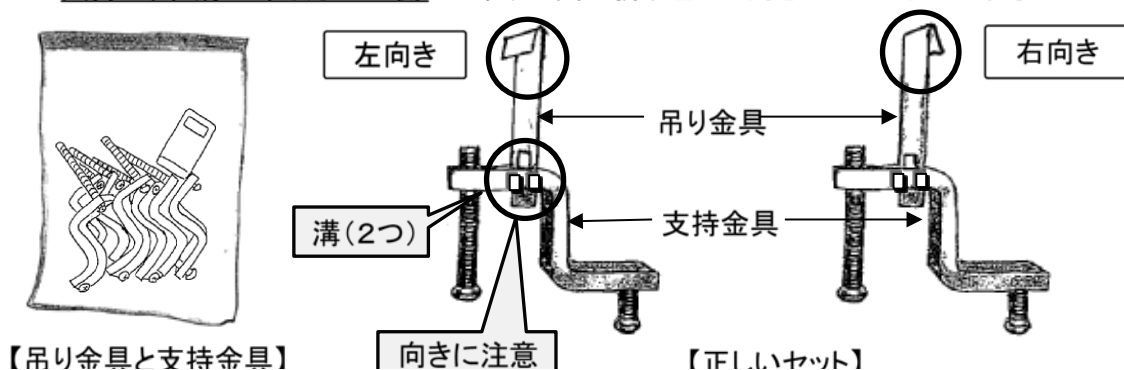
- ⑥ カウンター開口部に洗面器をはめ込む**
 先に充てんしたシリコンに注意しながら、ゆっくりカウンター開口部に洗面器をはめ込む。



7 フレームに吊り金具と支持金具をセットする

下図のように製品に同梱している吊り金具と支持金具をセットする。(8セット)

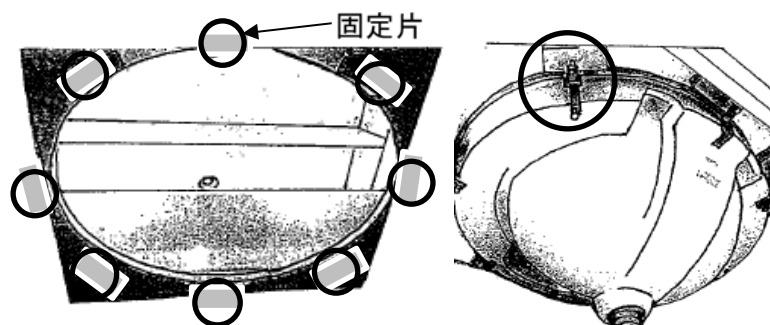
※支持金具:溝がある方が上側 / 吊り金具の折り返しの向き:左右どちらでも可



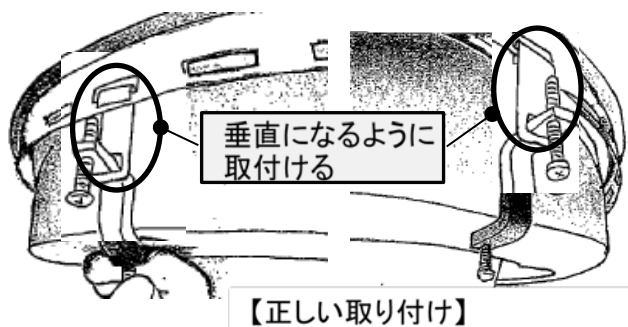
8 吊り金具と支持金具を締付ビスで固定する。 (マーブライトカウンターの場合)

①8箇所の固定片の位置に、吊り金具と支持金具をセットする。

②吊り金具が垂直になるように、支持金具の締付ビスをプラスドライバーでしっかり締付け、吊り金具と支持金具を固定する。



マーブライトカウンターの
場合、工場出荷時に
あらかじめ8箇所の
固定片が、カウンター裏に
接着されています。



注意

支持金具の締付ビスの
締め付け不足の場合、
カウンターとフレームに隙間
が生じるおそれがあります。

(市販カウンターの場合)

カウンター厚みが30mm以下のときは、当て板を入れて厚み調節後、上記の手順で吊り金具と支持金具をしっかり固定する。

4 取り付け後の確認

カウンターとフレームからはみ出したシリコンをきれいに拭き取り、傷・汚れがないことを確認してください。

